

在日米軍基地の再編と日米軍事同盟の強化に反対し、 基地の縮小・撤去を求める署名

趣旨

日米政府は、在日米軍基地の再編と、日米軍事同盟の強化に関する中間報告を発表しました。

報告では、中東からアジア太平洋を範囲とする米軍の司令部と実戦部隊を、日本に設置するとしています。アフガニスタン戦争やイラク戦争では、在日米軍基地から多くの兵士が出撃していましたが、このままでは日本は半永久的に、戦争の拠点となってしまいます。私たちは在日米軍の再編と強化に反対し、縮小と撤去を求めます。

また報告には、米軍の訓練を各地の自衛隊施設へ分散することや、日米共同訓練を増加することが記載されています。これでは訓練に伴う事件や事故を拡大し、基地周辺住民の生活や生命をこれまで以上に脅かすこととなります。基地撤去を訴えてきた住民の声を聞かず、基地機能を強化することを認めません。

報告には在日米軍司令部と自衛隊司令部の一体化や、戦争に際しての米軍と自衛隊の一体化が述べられています。私たちは、日米軍事同盟の強化に反対します。

こうした点から私たちは衆参両院ならびに内閣に対して、以下の事項を要請します。

要請事項

1. 在日米軍基地の再編に関する中間報告を、白紙撤回すること。
2. 在日米軍基地を縮小・撤去すること。
3. 司令部の併設、共同作戦・訓練の増強、基地・演習場の相互利用など、米軍と自衛隊の一体化を行わないこと。
4. 日米地位協定を、市民の生活と権利を擁護するように改定すること。
5. 沖縄県・普天間基地を、即時閉鎖・返還すること。
沖縄県・名護市辺野古での、ヘリ基地建設を行わないこと。
沖縄県・本島北部への、基地の集中化を行わないこと。
6. 神奈川県・横須賀基地での、原子力空母の母港化を行わないこと。通常型空母の母港も撤回すること。
神奈川県・厚木基地への、海上自衛隊岩国基地所属飛行隊の移転を行わないこと。
神奈川県・キャンプ座間への、米陸軍第1軍団司令部の移転と、陸上自衛隊中央即応集団司令部の新設を行わないこと。
神奈川県・相模総合補給廠への、陸上自衛隊普通化連隊の配備を行わないこと。
7. 東京都・横田基地での、日米共同統合運用調整所の設置を行わないこと。
東京都・横田基地への、航空自衛隊航空総隊司令部の移転を行わないこと。軍民共用空港化を行わないこと。
8. 山口県・岩国基地への、空母艦載機部隊の移転を行わないこと。夜間離発着訓練（NLP）及び、低空飛行訓練を行わないこと。
9. 鹿児島県・鹿屋基地への、普天間基地からの空中給油機の移転を行わないこと。
10. 北海道・千歳基地、福岡県・築城基地、宮崎県・新田原基地、茨城県・百里基地、石川県・小松基地などへの、沖縄県・嘉手納基地F15部隊の訓練の移転を行わないこと。

衆議院議長 河野洋平 様

参議院議長 扇 千景 様

内閣総理大臣 小泉純一郎様

